

祝辞（要旨）



本日の香取市合併10周年記念式典、誠におめでとうございます。

会場には千葉県内自治体の長が、大勢来ておられますけれども、香取市を含めて県内37市で構成される千葉県市長会を代表いたしまして、一言、お祝いのご挨拶を申し上げます。

一市三町の合併による香取市の誕生から10年が経過しました。水郷の風情が漂う利根川の水辺や穏やかな姿を見せる丘陵地などの自然、利根川舟運の繁栄を偲ばせる街並みや歴史薫る伝統文化を背景に、それぞれの地域で培われてこられた財産を十分に生かしながら、当地域の発展をリードする拠点都市として、今日まで発展してこられました。

この後、10周年の記念表彰があると伺っておりますが、今日の香取市の隆盛は、表彰の栄に浴される皆様の献身的なご尽力に負うところが極めて大きいと存じます。

皆様の、そのご功績に対しまして、深く敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。

10年と一口に申すのは簡単ではございますが、この10年の歩みは宇井市長をはじめ、市民の皆様におかれましても大変なご苦勞があったのではないかと思います。

市の発展に向け、一体感の醸成など、合併に伴う様々な課題に全力で取り組まれていた最中、あの東日本大震災が発生いたしました。香取市においても甚大な被害があり、とりわけ液状化現象は大変な衝撃だったことと思います。

その衝撃の中、宇井市長のリーダーシップのもと、皆様のご努力により、ここまで復興を果たされましたことは、同じく自治体を預かる者として、心強い限りでございます。

今、地方自治体は、少子高齢化が加速し、人口減少問題への対策は喫緊の課題となっておりますが、この状況に歯止めをかけるべく、香取市においても総合戦略が策定されております。

地方を取り巻く厳しい環境の中においても、今日の香取市を築いた皆様が、今後も「住みたい」「住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりを積極的に進めていく限り、「元気と笑顔があふれるまち 一人ひとりの市民が輝く 活みなぎる やすらぎの郷 香取」は、必ずや実現するものと確信しております。

結びにあたり、これからも、香取市が更なる発展をされますよう、ご期待を申し上げますとともに、ご列席の皆様の、限りないご健勝とご多幸を、心からご祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成28年4月24日

千葉県市長会長

東金市長 志賀 直温